

みさき

15号

美咲町議会だより

2009年2月10日発行

中央中学校は現在地で改築決まる



おはよう!! 気持ちよくあいさつする生徒 (建て替えが決まった中央中学校)

主な内容

- 中央中学校の場所決まる —— 2
- 新議長に大神式之氏 —— 3
- 一般質問 (中央中学校の改築など 13人が質問) —— 6~18
- サークル紹介
「豆剣士、集まれ」 明德館スポーツ少年団 —— 24

現在地に決定

24年4月開校へ

中央中学校の改築

臨時会

定例会が12月9日から19日までの11日間開催された。五千六百万円を追加し、総額百九億二千七百万円とする一般会計補正予算など予算案件十五件、条例など九件、追加提案二件が上程された。全議案を全会一致で承認し、可決・同意した。1月22日の臨時会では、中央中学校改築の予算案など二件が上程、全会一致で可決した。町長の報告は次のとおり。

ことに決定した。

生徒の安全のために
も早い対応が必要であ
り、財政上も有利な補
助率の時が良いと判断
し、21年度に必要な用
地買収と実施計画、22
年度で工事着手、23年
度完成、24年4月1日
の開校を考えている。

教育審議会の答申を
踏まえ、緑花公園内も
検討してきたが、現在
地での改築を決断した。
中国四川省の大地震
を教訓に、23年度まで
の期限付きで、学校改
築に補助金を上乘せず
るとの通達が文部科学
省からあった。
緑花公園内への建設
は、保安林の解除、ゲ
ラウンドの起債(借金)
返還などの問題があり
早期着手は困難と判
断。現在地に改築する

中央中学校の基本設
計料に八百六十六万円
を計上した。

(関連記事7、8、16
ページ)

そのほか、柵原地域
の児童館設置に千八百
万円、幼稚園を保育園
として利用するために
空調設備などの整備費
を千六百六十六万円計
上した。

福祉事務所を 開設 21年4月から



設置予定の本庁一階フロア

21年4月から「美咲

町福祉事務所」を開設
し、住民福祉の業務を
一体的に処理すべく県
から委譲を受ける。
生活保護、児童扶養
手当などの決定・支
給、母子世帯への相
談・支援などは、県に
申請し支援や給付を受
けていたが、町で直接
決定することができる。

開設場所は本庁舎内
を予定。必要な条例を
整備し提案した。
開設準備の生活保護
システムの導入に千百
四十六万円を予算化す
る。
(関連記事5、19ペ
ージ)



中央中学校は現在地に改築 (説明する町長)

人事 新議長に大神式之氏 副議長に岡田寿氏

新議長挨拶

定例会最終日の12月19日、定本一友前議長から議員辞職願いが提出され、賛成多数で承認した。その後、議長人事など困窮したが、議長に大神式之氏、副議長に岡田寿氏を選任した。

12月議会で突然、任期四カ月の議長に就任いたしました。期間は短いですが大変厳しい時の任務です。議会が円満に運営できるように取りまとめたいと肝に銘じています。また、4月の選挙が美咲町の明るいまちづくりとなるよう願っています。

美咲町政が国の政治のコピーにならないよう、町民皆様方のご協力をお願いいたします。私も短い期間の任務ですが、誠心誠意努めてまいります。



岡田 寿 議員



大神式之 議員

青野義昭氏に 町功労賞

旭町時代から町議会議員、議長として、また旭町長、合併後は美咲町長職務執行者として多岐にわたり町民をリードしてきた功績は多大である。

卓抜した識見と指導力、功績が表彰委員会で認められ、議会も同意、受賞となった。

1月9日、新年互礼会の表彰式の席で町長から表彰、授与された。



青野義昭 氏

「今後も町の発展に尽したい」との謝辞があった。



町内通話タダになるん？(IP電話を説明する職員)

町内通話が無料に

IP電話

合併記念事業として18年度から取り組んだ光ファイバ敷設。町内に告知放送、インターネット、ケーブルテレビサービスの提供を行っている。

入者同士の通話が無料となったり、町外通話が安くなる。各地でIP電話の説明会を行い、加入を進めてきた。全戸の加入、利用をお願いする。

21年はIP電話(町内通話が無料)に取り組み。加入は無料、加

(詳細は情報交通課へ
〇八六八―六六一―二二)

農業公社の

受託延べ面積107ha

町補助金922万円

財団法人農業公社の19年度経営状況を報告する。

事業収入は、農作業の受託延べ面積一〇七ヘクタール、千四百四十七万円、菌床しいたけ事業三百十三万円など。事業補助金千五十三万円(うち、町補助九百二十二万円)など、総収入は、三千百六十九万円。

支出は、農作業受託費七百五十七万円など総額三千二十万円。収支は、百四十八万円の黒字である。(前年度繰越金百六十万円を含む)

常任委員会から

総務

通学バス車庫建設など

5628万円追加

総額

109億2738万円

付託された議案十四件を審査し承認した。

◎一般会計補正予算

歳入歳出に五千六百二十八万円を追加し、総額百九億二千七百三十八万円とするもの。

【歳入】地方特例交付金三百六十四万円と地方交付税（国からの分配金）五千五百三十九万円は確定によるもの。繰入金二千五百五十七万円は減債基金繰入金など。町債（借入金）二千三百六十万円の減額は、土木債と災害復旧事業債で、事業確定によるもの。

【歳出】総務費千九百

三十五万円は、スクー
ルバスの車庫建築費、
ハイブリッド車購入
費、電子入札の推進・
整備費、集会施設整備
補助金、行政用情報ネ
ットワークシステムの
更新費など。公債費（返
済金）五千三百九十五
万円は、長期債の繰上
償還金。

■主な質疑応答

問

IP電話（町内無料）の加入申し込み状況は。

答

約二千五百件加入率は45%。

問

光ファイバを利用して、携帯電話の不感地域が解消できないか。

答

みさきネットとNTTとの連携を検討中。

問

合併支援特別交付金は、いつまで入るのか。

答

20年度の一億二千万円で終了。

問

電子入札の予算が計上されているが、内容は。

答

電子入札共同利用推進協議会の負担金百八十万円と、システム導入の七十八万円である。21年秋から開始する予定。

開始する予定。



車庫がほしい 野ざらしの町バス（緑花公園内）

民生教育

柵原西・東幼稚園 保育園として再出発

20年度一般会計補正予算、特別会計補正予算など五件が付託され、全会一致で承認した。陳情一件、要望一件も審議した。

◎一般会計補正予算

21年4月開設する社会福祉事務所のパソコン導入などの経費千四百六十六万円。

特別養護老人ホーム吉井川荘の組合負担金千五十一万円は、20年度に多額の赤字が見込まれたため、赤磐市と案分し負担するもの。

吉井川荘では収支の改善に向け、五十床から七十床に規模を拡大し経営の健全化を目指す。柵原中学校の二千二百七十一万円の減額は、体育館天井板のズレが発見され、6月補

正予算に計上したが、安全が確認されたため補修工事は不要と判断し減額した。各小学校へ町旗の配備に二十四万円。柵原西・東幼稚園が保育園として再出発するための施設整備費一千万円などである。

国民健康保険、介護保険両特別会計補正予算とも、保険給付費、介護サービス諸費が大幅に増加し、国、県の補助金・負担金、基金からの繰入金を増額したものの。

地域の介護は崩壊の危機にあり、国の負担の大幅増、職員の給与、労働条件など、制度の改善を求め、意見書を国に提出することを委員会で決定した。



4月からは保育園（柵原西幼稚園）

問 給食費の未納はないか。

答 遅れはあるが、未納はない。給食費は定額で集金し、3月に過不足を調整。

問 国保の滞納で子どもが医者にかかれない家庭はないか。

答 医療費の無料化（義務教育終了まで）で対応している。

問 乳製品の朝食補完事業は、21年度どうする。

答 当初の目的はほぼ達成したが、助かっている子どももいる。続ける予定。

問 社会福祉事務所には社会福祉主事が必要だが、問題はないか。

答 社会福祉主事の資格は多くの職員が取得しており、問題ない。

問 国保会計の医療費が増加しているがどう対応するのか。

答 退職被保険者は以前は七十五歳までだったが、六十五歳までとなった。一般被保険者が増えたことも医療費増加の原因の一つ。基金からの繰入金で乗り切りたい。

乗切りたい。

産業建設

不況対策に予定価格 最低制限価格引き上げ

20年度一般会計補正予算、特別会計補正予算八件が付託され、審議の結果、全会一致で承認した。

◎一般会計補正予算

主なものは、中山間地域等直接支援事業（王子団地）二百七十二万円。単県小規模土地改良事業（かん排）千八百八十四万円などである。

◎特別会計補正予算

事業調整など軽微なものとは長起債の借り換えが主なものである。

◎その他

江与味地内の町道路線の変更は、真庭市上山区から中部環境施設組合の最終処分場に林道を開設するため。また、飯岡地内の土地改良事業の変更は、排水路の計画変更により



本管から1.5km 水道は付くの（二夕目集落）



西川上地内 急ピッチで進む水道工事

千八百八十万円を減額するもの。

問 旭統合簡易水道の西川上地域の水道事業から外れる二夕目地区の給水設備をどうするか。

答 地元住民と協議中。小規模給水施設補助制度で対応する予定。

問 単県小規模土地改良事業の予算残

の使い道は。

柵原地域などの要望に応え、かん排、水路の整備事業を十カ所予定している。

答 入札の予定価格、最低制限価格を引き上げる理由は、

12月の入札は、景気の悪化、資材の高騰などあり、町内企業の健全化のため緊急対策として行った。

景気の悪化、資材の高騰などあり、町内企業の健全化のため緊急対策として行った。

景気の悪化、資材の高騰などあり、町内企業の健全化のため緊急対策として行った。

問う

一般質問

質問 初代町長として 4年間の総括を

義務感と使命感で 町の調整に努力した



岸本清治 議員

問 三町が合併して四年が過ぎた。住民の意識や予算内容などの違いからいろいろな問題が浮き彫りになった。初代町長として四年間の総括を。

答 奥村町長 行政サービスのすり合わせも十分できていない状態での合併。あらゆるものを調整する義務と使命があり、積極的に取り組んできた。

反省の第一は、合併前の行政サービスの大きな違いや合併後の美

質問 肺炎ワクチンに助成を 助成を検討したい

答 肺炎 ワクチンに助成を 助成を検討したい

答弁

療費の抑制につながる肺炎ワクチンの助成制度に取り組んではどうか。

答 奥村町長 免疫力が弱くなると肺炎などにかかりやすくなり、町内でも肺炎で死亡する人が全体の二割から三割いる。また、肺炎などの呼吸器系の病気件数、医療費は、ともに老人医療費全体の四割ぐらいである。

現在、全国の七十九市町村が肺炎ワクチンの助成に取り組む、近隣では奈義町が実施している。一生に一度接種すればよく、一人当たりのワクチン接種料金は六千五百円から一万円かかる。四千円の補助と60%の実施率で千二百万円が必要。

町民の元氣、健康が行政の重要課題であり、積極的に取り組みを検討したい。



誰が管理するのか 遊休施設（旧打穴小学校）

質問 遊休施設に 管理不足が見られるが

答弁 管理できていない面もある

問 旧大坪和小学校・保育園、旧打穴小学校・幼稚園など遊休施設が多くある。遊休施設の妙案もな

く、枯葉が落ち、草が茂っている。一部で水道施設にも管理不足が見られる。今後どのように管理していくのか。

答 奥村町長 古い建物など、地域の活性化施設とし

て再利用できればと計画を練っているが妙案はない。雑草対策は業務委託をし、年一回、草刈りや除草剤を散布し、施設の管理をしている。危険な建物は使用を禁止し、事故、火災など起きないように管理しているが、十分でない面もある。

町政を

4月の町長選挙 立候補するか

大切な時期 再出馬する

答弁



日神山定茂 議員

問

初代町長として苦勞しながらの行政運営だったと思う。住民サービスの均一化など積極的に取り組んできたが、町の事業など町民への説明が不十分で正しく伝わっていない部分がある。光フ

アイバ、子育て支援事業、赤字会計の解消など、安全・安心のまちづくりに貢献した行政手腕は町民誰もが認めるところである。町民に十分な説明を行い、引き続き行政を担当してもらいたい。4月に行われる選挙に出馬するのか。

答

奥村町長
行財政改革と少

子化対策の二本柱は順調に成果を上げていく。職員の意識の統一も進み、事業、行事もスムーズに行われてきた。経済環境が悪化の中、四十区画の分譲地・霊園の販売、柵原総合支所・中央中学校の建て替えなど大きな事業を控え、大切な時期である。

町を愛し、町民に少しでも満足してもらえよう。今後の施策に今後も取り組んでいけるよう再出馬を決意した。

質問

住民の望む

中央中学校の建設を

答弁

現在地がベター

早急に改築

問

中央中学校は老朽化しており、改築が急がれる。『建設場所は現在地か緑花公園内の二カ所で、住民などの意見を聞き、早急に建設場所を決定する』よう教育審議会の

どれくらいの面積が必要かなど答えを出してもらおう。可能な限り情報とデータを寄せながら建設に向け町が判断していく。改築問題は感情や一時的な思いで決定してはならない。

多くの要望があるが財政の厳しいときであり、中学校改築を優先する。これまでの交渉で現在地周辺の地権者の理解もいただけていると思う。決定ではないが、私的には現在地がベターではないかと思っている。説明会などでの説明が不十分な点はおわびする。

答

奥村町長

学校を建てるのは町、使用・管理するのは教育委員会である。教育委員会には、中学校の全面建て替えをする場合、運動場は



現在地を望む声が多い 中央中学校

中央中学校の建設問題



発注が激減した公共工事 (西川地内)

質問 教育審議会の 答申内容は

位置の決定には 住民の声を大切に 答弁



三船勝之 議員

問 中央中学校の建設は教育審議会の答申も出され、地域住民への説明会も行われた。答申の内容は。また、住民へどのような説明をしたのか。

答 審議会の答申は9月29日、町長に出された。答申では、建設場所は緑花公園内と現在地の二カ所に絞られている。建設場所の決定には地域住民の声をしっかりと聞けという答申内容であった。教育委員会には建設場所の決定権限はない。今回の説明会は、答申に沿った住民の意見を聞く会を開いたもの。意見を聞く会は二地区に限ったものではない。要望があれば対応したい。

質問 入札価格の見直しを

答弁 12月から改善し 実施している

問 公共工事の発注が激減し、過当競争により業者は体力も衰え、建設機械を処分するなど悲壮な現状である。

答 町発注工事の予定価格や最低制限価格の改善を願いたい。奥村町長 今日の大不況で

質問 遺族会の活動に助成を 慰霊祭は社協で実施 増額を検討したい 答弁

問 戦後六十三年、戦没者の遺族も高齢化。遺族会では靖国・護国神社への参拝、地域の忠魂碑の清掃などの活動をしている。遺族会員は減少し活動費も不足。補助金の増額を。

答 奥村町長 政教分離の立場から慰霊祭は社会福祉協議会で行っている。同意が得られれば、助成を検討したい。

質問

保育園児の
通園をどうする

塚角地区

バス回数券に補助する

答弁



下山和由 議員

問 4月から柵原地域の幼稚園が保育園になる。保護者からは説明不足との声も聞く。

塚角地区の園児はバスの定期券から回数券に変わる。回数券は個々に購入するのか。また、回数券の購入に制限はあるか。

答 児童館の設置は保育園の開園までに間に合うか。場所と経過は。福井副町長
個人で回数券を購入し、通園日数によ

り精算する。補助は21年度の一年間とする。児童館は4月開設に向け準備している。

場所は、吉ヶ原の社会福祉協議会の事務所。関係者の了承も得ている。間に合わない場合は、小学校の一部を児童館に代用する。

質問 柵原中学校
送迎バスの見直しを

現在の3路線を
2路線にしたい

答弁

問

柵原中学生の送迎は、バス三台で対応している。民間バスの二台には半分程度の乗車である。経費節減が問われている時期、見直しをするか。

答

中力教育長

生徒の減少でスクールバス通学の人数が減少している。21年度から運行中の3路線を二路線に変更する協議をしている。変更に伴い始発時間を五分程早くする必要がある。保護者への理解と協力をお願いしたい。

問

塚角地区の生徒は七人である。スクールバスの通り道であり、空きもある。県

答

中力教育長

道も危ない。バス通学を希望する声があるが実現できるか。塚角地区はスクールバス通学区域でない。生徒は自転車と徒歩で通学している。特別な事情がある場合は、学校を通して教育委員会に相談してほしい。バス通学が必要かどうか、学校とも協議をし便宜を図っていきたい。



自転車通学は危険がいっぱい (塚角区内)

質問

粗末に扱うな
要望書

答弁

返答が遅れ
深くおわびする

問

19年6月26日付で塚角地区から防犯灯設置の要望書が出ていると思う。回答がまだにない。今日までの対応は。

答

中力教育長

19年に塚角地区および柵原中学校PTAから要望書を受けた。教育委員会では、県道のため県民局長に要望書を提出、20年5月13日に交差点・横断歩道・道幅が狭いところは防犯灯を設置できるが、要望の場所は該当しないと回答があった。

答

奥村町長

返答が遅れたことは大変申し訳ない。深くおわび申し上げます。

質問

若者定住に雇用の場を

固定資産税の補助で
企業誘致を図っている

答弁



松島 啓 議員

問

若者の定住に保が最重要課題である。大変な不況の時ではあるが、具体策はあるか。

答

奥村町長

企業誘致は非常に難しい。中央地域にある中国地方一の養鶏場(美咲ファーム)では、百八十人の従業員のうち、町内の人が四割ぐらい働いている。

また、津山圏域では、雇用労働センターを中心に雇用の場の創出に努力している。

町では、固定資産税の補助で企業誘致を図っている。

若者定住策として、住宅の建築などに固定資産税の補助などで対応したい。

質問

少子化対策の計画は

答弁

医療費の無料化18歳までを検討

問

「少子化ストップ宣言」をして、

「子どもは地域の宝、子育てするなら美咲町」というキャッチフレーズで少子化に歯止めをかける手厚い施策が行われた。さらなる計画は。

答

奥村町長

財政が許されるなら、子どもの医療費無料化を中学校卒業までから高校卒業の十八歳までに引き上げることも考えている。

わが国の活性化、立ち直りのためにも少子化対策は一番の課題。国にも徹底的に対処するように要望したい。町ができることは、精いっぱい行う。

問

町消防団の機構改革で分団・部の統廃合が検討されている

質問

消防団の団員確保に弊害はないか

消防団の意見を尊重したい

答弁



今年も地域の安全を守ります 美咲町消防団出初式(1月18日)

答

奥村町長

消防団は、消防活動だけではなく、地域のコミュニケーションの中核としても大切だと考えている。地域の若者がボランティア精神で活動している消防団、その尊い精神を財政の問題で改革するつもりはない。消防団の意見を尊重したい。

町消防団の機構改革で分団・部の統廃合が検討されている

問

20年度も全国学力テストが小学六年生と中学三年生を対象に行われた。町内の小・中学校の結果は。また、分析結果を十分活用しているか。

答

中力教育長

学力テストの結果は、問題に対して回答しない比率が高い。また、どの教科も応用問題の正答率が低いのが、美咲町の小・中学校の傾向である。

生活習慣では、テレビ、ビデオの視聴時間が非常に長いという結果が出ている。各学校とも分析結果を踏まえて授業に取り組んでいる。

質問

学力テストの結果を生かせ

課題に課題 改善に取り組む

答弁

問

柵原東小学校は英語活動等国際理解活動推進事業の指定を受け、英語教育に取り組んでいる。10月の研究発表会では、児童は楽しみながら



草薙良明 議員

質問

英語の必修化
小学校での対応は

国際化に向け
英語教育に取り組む

答弁

ら学び、児童と先生が打ち解け、素晴らしい雰囲気での授業であった。23年から文部科学省は小学校の英語必修化を行う。20年度で指定は終わるが、継続するよう教育委員会の指導を願いたい。

答

中力教育長
小学校の英語の必修化は、23年から五年生と六年生が対象。町内の小学校では英語の必修化を予測し、合併時から年間十五〜三十五時間程度、全学年で取り組んでいる。教育委員会では、国際化に向けて各学校で英語教育を推進する。



プリーズ オバマ？ 国際理解へ英語の研究発表会（柵原東小学校）

問

近年、国内社会では児童に対する事件・事故が非常に多い。津山圏域内の情報は共有し、安全・安心を守る対策を望む。

答

中力教育長
学校の安全が特に強く言われたのは、七年前の大阪池田小学校の児童殺傷事件。以来、学校では学校保健安全法により防犯訓練などの実施、安全点検、警察とも連携し学校独自の危機管理マニュアルを作り、緊急時の対応に備えている。

心のため、防犯教室や近隣市町村との情報交換、登下校時の見守り隊の活動もしている。

しかし、油断は禁物。地域の方にも協力していただき、日頃から学校内外で目配りをし、子どもたちの安全に最大限の努力をする。関係者をはじめ地域の皆さんの一層のご協力をお願いしたい。

質問

児童の安全対策を望む

答弁

学校内外で安全に備える

そのほか、県から委嘱されているスクールガードリーダー、警察、スクールサポーターの協力もある。安全・安

業者との災害時の協力は

緊急対策支援協定の素案を作成中

答弁



角南憲一 議員

問

台風10号災害から十年経過。災害は忘れたころにやってくるとも言われる。

災害など緊急時の町内業者との支援・協力体制は確立しているか。

町内の建設業者、従業員数、保有する重機台数は。

また、災害などの緊急救援物資の備蓄をしているか。

答

清水建設課長

18年10月の総務省の事業所・企業統計調査によると、町内の建設事業者数は百二十九、従業員数は六百二十三人。20年度の町内の四十六指名業者の調査では、重機台数二百四十四台、ダンプトラックなど百二十一台である。

答

松本総務課長

鏡野町では災害時の「緊急対策支援協会」という組織ができています。本町でも協定の素案を作成中である。

町では、備蓄を行っていない。町の地理的条件を考えたとき食品の確保はできる。災害時に重要なのは水の確保。水を移動、運搬できる対策が必要である。

問

工事の入札に総合評価方式の導入を検討しているか。

答

山本企画財政課長

近年、公共事業が減少し、価格競争が激しい。著しく低価格による落札者が急増している。不良工事の発生、下請けや労働者へのしわ寄せ、公共工事の品質の低下を招く恐れがある。

町では総合評価方式は考えていない。指名委員長とも相談し、隣市町村との動向も視



公共事業も激減 厳しい町内業者

野に入れ研究していく。

総合評価落札方式とは、従来の価格のみによる自動落札方式とは異なり、「価格」と「価格以外の要素」(例えば、初期性能の維持、施工時の安全性や環境への影響)を総合的に評価する落札方式で、具体的には入札者が示す価格と技術提案の内容を総合的に評価し、落札者を決定する落札方式。

設計金額と契約金額との差

問

設計金額と契約金額の差が大きすぎるのでは。

答

奥村町長

20年12月に景気対策として最低制限価格を上げ過当な競争をさける対策をした。

地元業者の育成を考慮している。

生活上の施策は

問

町民の生活を向上させる最重点施策は。また、周辺部が放置される事態が懸念

答

奥村町長

されるが秘策のほどは。人間の一番の幸せは健康である。健康づくりを最重点に掲げた行政を運営する。町の周辺部が放置されていると言われるが、中心部も同様である。格差のない行政サービスを行いたい。

柵原支所の建設は

問

柵原総合支所の建設計画を問う。

答

奥村町長

総合支所の建物は古く分散しており、管理面のロスが多い。人員配置、規模など検討し、早期に計画したい。

出馬するの

問

引き続き町政を担当する意志はあるか。

答

奥村町長

許されるならば引き続きその任を担当したい。

問 国土交通省が吉井川水系の治水対策方針を出した。状況は、また、計画には毎秒五百トンの水を下流に流すため河川敷を掘



大神式之 議員

質問

吉井川（柵原区間）の治水対策 経過も踏まえ接渉を

過去の計画も参考にする

答弁



急がれる吉井川沿いの道路整備（久木地内）

り下げるなどがある。柵原地域の河川改修は、昭和54年災害の激特事業の計画も完了していない。県との接渉には、その点も考慮すべきではないか。

答 清水建設課長
平成20年に国の審議会で吉井川の整備方針が審議された。審議内容は、災害防止に堤防の新設、河川の掘削、護岸整備などの計画や氾濫した時の対応も記されている。吉井川の町内部分の整備計画は管理者の県が準備中である。

答 奥村町長
新聞に吉井川整備方針案が載ったが、基本的な整備計画の連絡は、町にはまだ入っていない。内水、護岸計画など昭和54年災害の過去の計画も参考に交渉にあたりたい。

答 奥村町長
町民アンケートは実施していないが、時代の動きで合併せざるを得なかったと考える。「慣れ」を変えるには大変なエネルギーが必要で、今が一番苦し

答 奥村町長
合併して四年。手探りの中、行政を進めてきた。帰省した人から「さびれたなあ」と聞くと自身の責任も感じる。行政は隔々まで目配りが必要である。各地域で住民がかかわり、自分の町をよくしようの気持ちが起こる体制づくり（協働のまちづくり）が一番大切である。合併を町民はどう受けとめていると考えるか。

問

答弁

質問

合併して4年 町民の気持ちを大切に
苦しい体験を基に 格差のない行政に努力

問 柵原地域の幼保一元化が21年度か

質問 地域性を考えた建設を
答弁 今回の対策は緊急対策

い体験をする立場にいろいろ問題もあつたが、一つの基礎ができた。次には目配り、気配り、思いやりを基礎とした行政が大切と思う。地域格差のないことを基本に行政に取り組みたい。

答 奥村町長
今回の幼保一元化は段階的なものである。柵原地域の地形、生活圏、人の動きを見た時、柵原地域に一カ所の保育園では無理と考えている。厚生労働省などの予算の関係もあり、同時に二カ所の保育園の建設は困難だが、早期に住民の意思を確認しながら、大体の位置でも決めていきたい。



山本宏治 議員

多額の借地料 解消に努力せよ

買い上げが望ましいが 困難がある

問 まちづくり調査 研究特別委員会 で協議し、現地確認も行った七十数件の借地と千二百万円の借地料について、借地返還・買い上げの進み具合と地権者との協議は。

答 奥村町長 公共施設の土地は基本的に買取することが望ましい。施設の建設には経緯と歴史があり、思うように進んでいない。

18年度末に七十六件あった借地は、19年度で七件返還し六十九件となっている。20年度は話しが進んでいない。

問 借地面積の見直し、地目の評価替えをし課税しているか。

答 奥村町長 現況を確認し評価替えをするなど、正常になるようチェックしている。

質問 案内標識の増設を

し現地確認をし、設置の方向で検討したい。

答 清水建設課長 産業観光課とも連携し現地調査の上、必要な場所に案内標識を設置したい。

問 山間部で道に迷う人が多い。観光地・施設などへの道路標識を地元と協議し設置できないか。

答 奥村町長 都会と違い田舎は道を間違えたら大変。総合的な観光案内板と各所に分かりやすい道路案内を設置したい。

答 山下産業観光課長 関係機関と協議

質問 花いっぱい運動で 地域づくりを

答 緑化フェアとタイアップし 展開したい

問 21年度に岡山県で第二十六回都市緑化フェアが開催される。協働のまちづくりの中で花づくりに取り組む、芙蓉ロードやアジサイ花街道のような心なごむ地域づくりはできないか。

答 山本上下水道環境課長 職員が、庁舎周辺、郵便局からの川沿い、駅周辺の花壇の整備にあたっている。

また、県のアダプト 人通りが多く目立つ



地域をあげて管理作業（藤田フラワー街道）

答 清水建設課長 町道などで地域の賛同が得られ交通に支障のない路肩、のり面を利用した場所の提供は可能である。

答 奥村町長 「花と自然と笑顔のあるまち」のキャッチフレーズで美咲町が本当に美しく咲くように環境整備に取り組みたい。緑化フェアとタイアップし花づくりを積極的に考えたい。

答 山本企画財政課長 地域活性化事業

県のアダプト推進事業は、町内で六十二団体が取り組み、花づくりは七団体である。

質問

問題点が多い
介護保険制度の見直し

財源確保が必要

国で議論してほしい

答弁



安藤暢昭 議員

問

介護保険制度の21年度見直しの問題点を問う。

① 現行制度の問題点は、
② 障害者福祉との統合、保険料徴収対象を三十歳から拡大するのはやめるべきでは。
③ 介護認定の調査項目を大幅に減らして、審査会を省略し、コンピュータだけで認定するのは問題があるのでは。
④ 療養病床を23年に廃止するのは、利用者に不安を与えるのでは。

答

難波保健福祉課長

① 介護保険は原則一割負担、高いサービスを受けると負担も高くなる。公費負担を増やすよう要望してきたい。

② 障害者福祉との統合は、難病など、どちらにも該当しない場合に救済できるメリットがある。

三十歳からの徴収は、子育てなどに負担がかかる年代なので、理解が得られないと考える。サービスの低下や負担増につながる改正は慎重に行ってほしい。

③ 調査項目が八十二から七十四に変更。20年にモデル調査した結果、介護度の違いはなかった。認定結果に異議がある場合は、改めて調査・認定する。

④ 療養病床が廃止されると、医療病床や介護施設で対応する。施設が不足し、退院を余儀なくされ在宅に変わる場合の実態を十分把握したい。

問

介護保険の見直しに次の事を要望する。
利用料や保険料の負

答

奥村町長

同感である。長

担の軽減。認定制度の改善。特に認知症への対応。支給限度額の引き上げ。要支援でも必要なサービスが利用できる仕組みに。

寿社会の対策を抜本的に見直さないと解決しない。その中で財源確保が一番の問題だ。国民の声をしっかりと受けとめ、国策として議論してほしい。



ありがとう介護士さん (吉井川荘)

質問

国の保育制度改革
問題があるのでは

安心して任せられる
ことが大事である

答弁

問

国は保育園と保護者の直接契約方

式の導入、保育園の最低基準の見直しなど、保育制度を大きく変える方針を出している。

保育・教育は国と地方自治体が責任を持つて行わなければならない。公立の運営方式をしっかりと守り、充実させて行くべきではないか。

答

奥村町長

全国的には、保育園の87%が私立である。サービスが高まり保育料も安くなり、競争原理が働けば直接契約方式が良いと感じている。

公立保育の中で硬直化・閉塞化している部分を改善すれば公立で運営すべきだと考えている。公立であれ私立であれ保護者が安心して任せられることが一番である。

質問
**下水道の引込工事に
 自己負担がいろいろのか**

**格差をなくすため
 40万円までは町が負担**
答弁



貝阿彌幸善 議員

問 中央地域の公共
 下水道工事の供用
 開始区域で、本管から
 敷地内設置の公共マス
 までの引込工事は、20
 年4月から工事費が自
 己負担になっているが
 間違いないか。

答 山本上下水道環境
 課長
 柵原地域の農業集落
 排水の場合、供用開始
 後の加入は全額自己負
 担としていた。公共下
 水道と整合性を図るた
 め、中央地域も20年4
 月から四十万円まで町

負担とし、超えた部分
 を個人負担にした。

問 下水道への加入
 金三十三万円を払
 えば、新規加入者も本
 管から敷地内公共マス
 までは基本的に町が負
 担すべきと思うが、再
 度検討せよ。

答 山本上下水道環境
 課長
 町の負担は、本管か
 ら二十メートル程度を
 基準に工事費を計算し
 た場合、四十万円程度
 だったため、助成金額
 を決定した。

答 奥村町長
 基本的には本管
 から敷地内設置マスま
 では町が工事を行う
 が、合併によるサービ
 スの格差をなくすた

め、農業集落排水・公
 共下水道工事ともに、
 四十万円を超える費用
 は自己負担とした。
 改めて検討する。

質問
**中学校の建設は
 専門的な立場から発言を**
答弁
**今の段階では
 私の発言はできない**

問 町は、教育審議
 会に中央中学校建
 設場所を白紙の状態で



40万円までは町が負担 下水道接続工事

諮問したと聞く。中学
 校建設には教育長や教
 育関係者などの専門的
 な目から長期にわたる
 生徒の推移・動向、生
 徒のためになる施設環
 境、利便性など加味し、
 検討すべきと考えるが。

答 中力教育長
 生徒数の推移、
 経過などは審議会に報
 告し検討していただい
 た。

建設場所は緑花公園
 内と現在地の二カ所が
 答申された。
 今後、場所の最終決
 定は、町長から議会に
 提案されると思う。今
 の段階では立場上、私
 は発言できない。中央
 地域の住民の意向、意
 見を聴く会を開きたい。

質問

できたか

分譲地の募集要項

春には募集したいが
できていない

答弁

まちづくりを行っている。町外からの転入者

はアパートへの入居が多く、定住には不安が残る。

分譲団地の入居状況は、打穴西団地では平均三十一歳、町外から36%。打穴中団地は平均三十九歳、53%が町外の実績。



岡田 壽 議員

問

緑花公園内に分譲地を造成している。早期完売には早期募集が必要である。募集要項はできたか。また、いつ頃から募集を始めるか。

答

山本企画財政課長 分譲団地は19年度から二カ年の事業。古墳や用地の問題で20年3月に着工した。最後となる道路の舗装工事をし、春には募集を予定している。
町では、子育て支援などで若者を呼び込む

質問

集落の核となる若者を分譲地へ呼び込むな

答弁

販売の規制は難しい

問

安芸高田市の川根地域の分譲住宅では、次男、三男、町外の人を対象に募集。長男は生まれた地域で頑張り、地域の活性化に貢献している。

答

奥村町長 利便性の高いところには若者は集まる。限定販売の案だが、完売を考えると販売の規制は難しい。
後継者やUターンの増改築には固定資産税の補助を実施する。集落に帰ってくる後継者には何らかの方策を考えていきたい。



誰が入居するのか 完成が近い緑花公園付近の分譲団地

質問

イノシシ対策の充実を

厳しい財政の中
努力したい

答弁

問

中山間地の農業者にはイノシシ対策

策は最重要課題。三戸以上、以下に区切った助成に不公平を感じる。現地確認などとして改善を望む。また、イノシシを駆除する猟友会への支援も必要では。

山下産業観光課長 三戸以上は県事業で、二戸以下は町事業で対応している。町費の単価は県費の70%が基礎。該当するのは県費で二十九件、町費

で四十三件。

イノシシの駆除は19年三百八十頭、20年は二、三割増加の予想。対策に町費を投入する近隣町村は少ない。厳しい財政の中ではあるが、県費町費とも変わらぬように予算要求したい。

定額給付金
町の負担は

人件費を負担

問

定額給付金の事務処理を町が担当する。負担は。

答

松本総務課長 12月2日、県の説明会では実施の問題点の予測にとどまった。町の負担は人件費部分だが、かなりの費用と予測。具体的な進展はない。

質問 活力ある 美咲町の構築を

目標は 住民の生活の安定 **答弁**



池上弘道 議員

問 国が迷走している今、地方から変えていかなければ改革はできない。ハードからソフトへの切り替えを急ぎ、町民が心から喜び活力ある社会の構築を期待する。将来の美咲町をどう描いているか。

答 奥村町長 地方自治の果たす役割、目的を原点から考えると、行政の目的は住民の生活の安定。住民の生活の安定は、福祉の安定と向上

を目指すこと。福祉とは、人間生活を営む上で必要な生活環境を整えること。生活環境とは、経済、健康、安全を確立していくこと。これらが、行政に課せられた任務である。今やらなければならぬのは、急激な人口減を避ける少子化対策、すなわち、安心して産み育てられる経済環境だと考える。行政にできることは、可能性のある夢を描きプランを立て、手の届く目標と希望を町民に十分説明し、行政と町民が一丸となることが一番大切と考える。



花の苗づくりに挑戦 農作業も充実（黒瀬園芸 打穴下地内）

質問 農村の発展と 農業が活気づく施策を

答弁 アイデアで 農林業者も挑戦が必要

答 奥村町長 町の基幹産業は農業と林業である。農林業者の育成も考えるが、農林業も経営にアイデアを生かし所得を得る挑戦も必要である。行政主導でなく、住民主導が望ましい。行政がサポートする方向で互いに頑張りたい。

行政も考えるべき

問 農家は弱体化している。行政主導が必要であり、今後の行政に反映せよ。

答 奥村町長 農業所得を安定させる方向に一生懸命に汗をかいていきたい。

問 少子高齢化による人口減、農村は衰退し、農村の将来は見えない。農業・農村

をきちんと守っていくことが大事である。農村が発展し、活気のある農業をどう考えるか。

条例の制定一件、改正三件を上程、審議の結果、全会一致で可決し、承認した。主なものは次のとおり。

福祉事務所を開設

4月1日から

を開設することになった。このため条例の制定を行うもの。

◎福祉事務所設置条例

生活保護などの決定・支給などは、これまで県が行っていた。地方分権により県が町に事務を委譲するとし、美咲町福祉事務所

これにより、生活保護法、知的障害者福祉法などに定められている援護・更生の措置などの事務を町で行うこととなる。

事務所は役場本庁内に



募集中の美咲霊園（打穴西地内）

に設置。4月1日から業務開始の予定。

美咲霊園

打穴西地内に完成

◎墓地公園の設置条例を改正

旧柵原町には墓地公園が四カ所あり条例も制定していたが、美咲霊園（打穴西）の完成により、条例の改正を行ったもの。

美咲霊園の永代使用料は一平方メートル当たり三万五千円から四万円、一区画は約十㎡。

出産一時金

35万円から38万円に

◎国民健康保険の条例を改正

産科医療補償制度の創設により、国民健康保険の出産一時金を三十五万円から三十八万円にするもの。

陳情・請願

敬称は省略させていただきます。

陳情六件、要望二件は、常任委員会に付託し審査した。結果は次のとおり。

天皇陛下即位20年

奉祝行事の開催を

陳情は、岡山市内の四団体からあった。神道政治連盟久米支部 支部長 日野正彦 日本会議岡山 会長 平沼超夫 真実の歴史を学ぶ会 会長 瀬戸保彦 日本をよくする 岡山県民の会 会長 吉田敏一郎

この内容の陳情は前議会でも審査した。町での奉祝行事は無理だが、奉祝記帳所の設置は妥当とし、賛成多数で一部採択とした。

国外の歯科材料は安全か

安全か

岡山県保険医協会 歯科部会 会長 木村秀仁 近年、玩具や食料品などから有害物質が検出され、国民に不安が広がっている。特に、歯科医療に使う材料は国外で作られ安全の保障はない。これらの取り扱いの法整備などを求めるものであり、採択とした。

戦没者慰霊追悼行事を自治体の責務に

財団法人岡山県遺族連盟 会長 岸本清美 美咲町遺族連合会 会長 大倉 實

今日の日本の平和と繁栄は、先の大戦での戦没者のご英霊の犠牲のうえに築かれている。次世代に平和の意を伝えることは大切であり、趣旨採択とした。

商工業振興事業に補助金を

補助金を

久米郡商工会 会長 西本和馬

地域内の産業の活性化は不可欠、また、特産品開発や観光開発の事業も重要である。予算の許す限り要望に沿うよう採択とした。

ペット移動火葬車の取り締まりを

取り締まりを

日本動物霊園連合 久喜清外

実態がつかめず、

継続審査とした。

組合議会からの報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山広域事務組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町の勤労者雇用対策や広域交通などに対応)

就職支援に504万円

11月21日開催。19年度決算二件、条例改正四件が提案された。議員発議で組合議会の規則を提案、いずれも全会一致で承認・可決した。

19年度決算

一般会計

収入は、五千二百二万円、支出は、四千五百五十二万円、残額六百五十万円。

収入の主なものは、一市五町の運営分担金三千万円、うち美咲町分三百二十二万円、雇用労働センターの管理委託料千二百八十三万円。支出では、基金積立金千二百万円、就職支

ふるさと振興事業

特別会計

収入は、千四百四十六万円、支出は、千四十四万円、残額四百六十六万円。

収入の主なものは、バスセンター乗り入れ利用料七百二十八万円、広告収入百三十五万円。支出では、バスセンター管理費七十万円、ふるさと市町村圏



分別された資源ゴミ置き場（西部衛生施設組合）

援対策に五百四万円など。

域基金に二百万円などである。この基金積立で、基金総額は八億五百万円となった。条例改正は法律改正に準じたもの。

津山圏域

西部衛生施設組合

(旧中央・久米・鏡野町のごみ処理)

総ごみ処理センターの建設まで使用

10月20日、二議案が

提案。全会一致で可決した。

19年度決算

収入は、三億二千七百二十二万円、支出は、三億八百七十七万円、残高千三百五十五万円。

収入の主なものは、分担金三億二千二百二万円、うち美咲町分六千二百二万円。

支出では、給料など総務、清掃費二億二千六百八十七万円。借入金返済に八千三百四十四万円。

20年度補正予算

修繕費などに千百五十五万円を追加し、総額を三億三千四十一万円とした。

津山・英田圏域

衛生施設準備組合

美作市と

西粟倉村が離脱

津山圏域で広域化し

ゴミ処理を総合的に推進する協議会が、10年から進められてきた。ゴミ処理センターの建設場所は津山市領家地内に決定。20年度には、事務組合設立のための準備組合も設立された。センター設置場所が津山圏域の西部にあるため、美作市などの東部地域自治体は、中継処理施設の設置を検討していた。準備組合では設置・運営面で協議中であつたが、美作市、西粟倉村議会で事務組合に不参加の議決がされた。

今後は、一市四町(津山市、鏡野・勝央・奈義・美咲町)での事務組合設立に向け再出発することになる。

津山地区

農業事務共済組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町で運営)

農作物の被害

鳥獣害が4割

定例議会を11月21日、津山市役所会議室で開催、六議案が提案され承認・可決した。組合の関連する条例および規則は、津山市条例などを準用している。

提案の四議案は、地方自治法の改正による条例の用語の改正。

19年度決算

【農作物】被害数は三七戸で、共済金額は千五百四十五万円。鳥獣害が四割を占める。【家畜】病傷事故は、前年度と比較し三八九件少なく、支払共済金は約五百四十七万円減少。死廃事故は五七頭減少したが、支払共済

金では二百四十三万円の増加。

【果樹】被害は四戸、

支払共済金は百八十万円。

【園芸施設】三七棟の被害。支払共済金は百五十一万円。

【畑作物】大豆の引き受けで集団加入により二八町歩の増加、被害は四二戸、支払共済金は約七百十万円。

19年度末の積立金は四億三千八百九十万円。

津山圏域

衛生処理組合

(津山市、旧鏡野・中央町のし尿処理)

予算総額

6億3千万円

10月20日、津山市役所で開催、二議案が提案。全会一致で可決。

19年度決算

収入は、六億二千九百二万円、支出は、五

億四千六百七十七万円、差引残額八千二百二十五万円。

収入の主なものは、分担金五億六千五百九十九万円、うち美咲町分三千百八十三万円。支出では、清掃費四億千五百四十四万円、借入金返済に一億七千八百十四万円である。

20年度補正予算

退職手当負担金の補正など、六千二百二十六万円を追加し、六億三千八百九十万円とするもの。

行政視察の報告

増加する合併槽の汚泥に対処するため、11月27、28日大津市滋賀衛生プラントを視察した。

臨時会

12月25日、津山市役所で臨時会が開催。議案は一件、内容は

21年度から23年度までの包括運転管理委託に要する債務負担行為の補正で、金額は六億千五百万円。

全会一致で承認、可決した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野・奈義・勝央・久米南・美咲町)

もうすぐ完成

西消防署(鏡野町)

定例会が11月21日開催され、議案四件、議員発議案一件が上程、全議案を承認、可決した。

議員提出案件は、運営協議会を議案の審査、議会運営に関する協議、調整を行う正式な場としたもの。

19年度決算

歳入は、二十四億千二百六万円、歳出は、二十三億五千七百八十

20年度補正予算

四万円、差し引き五千二百四十二万円を繰越す。(歳入のうち、一市五町の負担金は、二十二億九千四百七十五万円、うち美咲町の負担金は、二億二千五百四十八万円)

繰越金の確定と西消防署建設費、東消防署の高規格救急自動車の入札確定によるもの。

組合債(借金)は、19年度末現在高二十一億三千二百八十万円。



着々と工事が進む西消防署(鏡野町内)

中部環境施設組合

(旧旭・落合・北房町のゴミ処理)

12月24日、真庭市北房支局で定例会が開催され、議案二件を審議。全会一致で承認・可決した。

組合議員の変更により副議長に大神式之氏が選任された。

19年度決算

歳入は、五億九千九百万円、歳出は、五億

七千五百二十七万円。残額二千三百七十二万円を繰り越す。

20年度補正予算

埋土処理に二百五十万円、資源ゴミ処理や計測器点検委託料などに七百六十五万円を追加し、総額を三億九千八百五十五万円とした。

契約更新 間近に

ゴミ焼却施設のある真庭市湯川地区、設置の際の十五年契約期間



地元との15年契約が終了するコスモスクリーンセンター(真庭市内)

が切れる。湯川地区からコミュニティ活動費など二十一件の要望が提出されている。(迷惑施設の補償)組合と湯川地区で調査、調整を行っている。

柵原吉井特別養護老人ホーム組合 (吉井川荘)

定例議会が10月28日開催され、報告一件、議案二件が承認、可決された。

美咲町議会から組合議員に角南憲一氏を選任した。

単年度では赤字

19年度決算

歳入は二億八千五百万円、歳出は、二億五千四百五十万円、差し引き二千五百六十五万円を翌年度へ繰り越す。単年度で千八百八十四万円の赤字、ショートステイの利用率の向上など経営の改善が必要

である。

赤磐市との負担金は、三千五百九十二万円。美咲町分は二千四百七十七万円である。

赤字の解消に 増床を計画

20年度補正予算

二千三百六十五万円を追加し、二億七千八百十五万円とするもの。主なものは、多額の赤字が見込まれるため、負担金二千二百万円の追加、美咲町分は千七百七十七万円である。経営改善に向けて増床の計画で設計委託料九百万円も計上。

久米老人ホーム 組合 (静香園)

(旧久米郡で運営) 10月27日に定例会が開催され、議案四件を全会一致で承認・可決した。



増床する柵原吉井特別養護老人ホーム 吉井川荘 (吉ヶ原地内)

19年度決算

一般会計

歳入は、一億七千二百九十九万円、歳出は、一億五千九百六十三万円、差し引き千三百三十六万円を繰り越す。

20年度補正予算

一般会計

歳入の主なものは、分担金および負担金一億九百九十九万円で、美咲町の分担金は五十万円で、入所者の負担金は四千九百二十万円。歳入の主なものは、繰越金の確定など。

柵原、吉井、英田 火葬場施設組合

定例会を10月28日、葬祭センターはとホールで開催。三議案が提案され、全会一致で可決。

葬祭センター運営費に六百二十万円など。

20年度補正予算

千五百七十二万円を追加し、総額を二千六百六十八万円とするもの。

葬祭センターを JAつやまに譲渡

火葬場使用は美咲町七九件、赤磐市六八件、美作市一二件で合計一五九件。

歳入は、六千七百七十五万円。負担金は三千二百六十八万円、うち美咲町分は千五百二十二万円。起債（借金）償還のため基金からの繰入金二千万円など。

歳出は、公債費（返済金）に三千七百五十二万円、これはJA津山に葬祭センターを譲渡するため借金を清算するもの。

火葬場施設運営費に千三百五十三万円、葬



JAつやまに譲渡される はとホールと柵原パレス（久木地内）

臨時会 はとホールの 売却を決定

21年1月13日、柵原総合文化センターで開催、議案は建物の処分。葬祭場はJAつやまが主に運営。葬祭場など施設をJAつやまに

歳入は、はとホール売却代金千三百六十三万円、繰越金百六十七万円を計上。

歳出は、積立金に千四百四万円、予備費に百六十七万円など。

JAつやまから一括支払いし、施設をリフ

勝英衛生施設組合

（美作市、西粟倉村、勝央・奈義・旧柵原町のし尿処理）

10月15日、勝央町役場で開催。

オームして運営したいとの申し出があり、美咲町議会も合意。葬祭センターはとホールと旧柵原パレスを売却処分する。全会一致で承認した。

19年度決算

一般会計

歳入総額二億七十四万円のうち、約九割の一億八千七百万円が構成市町村の分担金、このうち、美咲町は三千二十万円（全体の18・4%）

歳出総額は、一億八千七百七十七万円、主なものは、し尿処理の業務に要する光熱水費、修繕料、薬品・原



共用開始された 吉岡農業集落排水施設

材料などの衛生費に九千四百五十一万円、職員給与など総務費に五千九百三十万円など。二議案とも全会一致で承認、可決した。

20年度補正予算

繰越金六百六十二万円を追加し、予算総額を二億九十二万円とするもの。

度末現在で六千三百万円である。処理場への搬入は、「汲取し尿」と「浄化槽汚泥」がある。当施設ではそれぞれ二分の一となっている。

柵原地域は近年、汲み取りは減少し42%、組合全体のし尿処理量のうち柵原分は18・7%となっている。これは、分担金の割合とほぼ一致している。

参考

基金への積立金は年

みんな集まれ 団員募集中

明德館スポーツ少年団

町内のサークルを紹介し
ます。
楽しいサークル、ユニークなグループご連絡ください。
議会広報委員がおしゃします。

1月21日、総合運動公園内「明德武道館」を訪問した。冬でも寒さを吹き飛ばす「メン」「ドウ」と元気のよい声が聞こえた。保護者の皆さんと談笑しながら三十分ほど練習を見学、保護者の応援体制もバッチリ。なごやかな中にピリツとした緊張感を感じた。

いつ頃から活動していますか

昭和54年に結成。最初は警察の道場で練習していた。二年後に道場が完成。明るく、りっぱな剣士が育つよう「明德館」と命名、現在に至っている。多くの剣士が巣立っていった。現在、指導者4人、団員は二年生から六年生までの男女十四人で練習している。

どのような活動をしていますか

練習は毎週月曜日と木曜日、夜七時から八時三十分まで。冬は寒稽古、夏は土用稽古で

鍛えている。試合は町大会、郡大会、招待試合と年間五〜六試合。去年は郡大会優勝、県大会も参加できよい思い出になった。

楽しいのはどんな時ですか

練習後、面をはずし



みんなおいでよ!! 明德館の豆剣士が勢ぞろい

新入団員は、礼儀作法、素振りと基本練習が大変。上級生と同じようにできるようなるとうれしい。

大変なこと、つらいことは

試合で負けた時。冬の練習、寒稽古が

た時の達成感が好き。

試合をしている時。

練習がきつなくても、

試合に勝てなくても、

練習して剣道がうまく

なった時。

試合で優勝した時。

寒くて大変。

かき稽古が大変。

今年の目標

2月22日の久米招待

試合で優勝したい。

県大会に今年も出場

したい。

議会って

知っていますか

(団員) 学校で習って知っている。

議会だよりを

読んでいますか

(団員) 見たことはあるがおもしろくなかった。

(保護者) 町内のいろいろなことが詳しく書かれているので、いつも読んでいます。写真も全面カラーにするなど工夫すると読みやすくなるのではないかと。

先生、保護者の

希望

団員が少ないことが悩み、チーム編成も難しい。もっと団員が増えるようお願いしている。

「団員あつまれ!!」

子供たちには、剣道で体を鍛えることはもちろん、礼儀作法を学んでほしい。

編集後記

世界的な不況、国内でも企業は人員整理、採用取り消しが報道されており、社会情勢が回復することを願っています。

合併後四年が経過、議会だよりも十号の発行、親しみやすい広報に努めました。議員の意見が正確に伝わるよう、活字にする事の難しさも体験しました。議会もテレビ中継となり議員と町民の親近感が深まったと思います。

議会だよりが町民との深いきずになるよう頑張ります。ご愛読とご意見をお寄せください。

(下山記)

- 議会広報編集特別委員会
委員長 岡田 壽
副委員長 日神山定茂
貝阿彌幸善
松島 啓
下山 和由
寒竹 壽